

尾辻秀久、西島英利両参議院議員をお迎えし 講演会「日本の医療を考える」を開催

— 6月20日、郡市代表者会、講演会「日本の医療を考える」 —

6月20日(土)、札幌グランドホテルにおいて本年度第1回目の郡市代表者会に際して、特別企画として当医師連盟主催により講演会「日本の医療を考える」を開催した。

◇ 第1回郡市代表者会 ◇

会議では、役員改選に伴う(1)北海道医師連盟・日本医師連盟役員の変更について、を提案どおり承認し、ついで、(2)平成20年北海道医師連盟収支決算について、を会計監査報告ののち異議なく承認した。また、(3)次期参議院議員選挙候補者の支援体制について、では日本医師連盟が本年1月20日開催した執行委員会で平成22年7月施行予定の第22回参議院議員通常選挙の比例代表候補として西島英利現参議院議員の推薦を決定し、現在、日本医師連盟選挙対策委員会で後援会活動や組織対策等を練っているとの報告と、引続き当医師連盟が各地区で西島議員を招いての後援会活動を進めていくにあたっての郡市医師連盟の協力を求めた。

◇ 講演会「日本の医療を考える」 ◇

引き続いての講演会「日本の医療を考える」は、講師として元厚生労働大臣である尾辻秀久自由民主党参議院議員会長と西島英利参議院議員をお迎えして開催した。前述の会議出席者のほか北海道精神病院協会、北海道柔道整復師連盟、北海道鍼灸師連盟、北海道鍼灸マッサージ師会などからの参加者を加え、230余名の参加者を得て盛会裏に開催された。



長瀬委員長の挨拶、来賓として尾辻議員会長の地元から鹿児島県医師連盟の米盛學委員長、西島議員の地元から福岡県医師連盟の横倉義武委員長をお招きし、それぞれから両議員のプロフィールや国政の場での活躍の様子などを交えたご挨拶をいただいた。



来賓 鹿児島県医師連盟 米盛 學 委員長



来賓 福岡県医師連盟 横倉義武 委員長



講師 尾辻秀久 自由民主党参議院議員会長



講師 西島英利 参議院議員



講演では、はじめに尾辻議員会長から、平成16年9月からの第2次小泉改造内閣で厚生労働大臣に就任後、経済財政諮問会議の審議過程と構成員等に疑問を持ち、その提唱する市場原理主義は間違いであると指摘し、かつ、社会保障費の多くが義務的経費であるにもかかわらず、単に機械的に抑制する政策は誤りである、との認識に立ち、本年1月の参院本会議の代表質問では、麻生総理に対して「乾いたタオルを絞ってももう水は出ない。潔く社会保障費の2200億円のシーリングはなし、と言えないか」と質した真意を切々と述べられました。

そして、今後もこの問題に身体を張って努力する、と力強い言葉で結びました。



続いて、西島議員は、尾辻議員会長の「社会保障費の自然増2200億円削減」問題に対する国会や党内会合でのご活躍の一端を紹介したのち、「社会保障の課題」と題して、パワーポイント（資料配付）を用いて社会保障給付費の推移、21年度税制改正大綱、骨太の方針2009、医療安全調査委員会、臓器移植法の一部改正案など国会諸情勢について、いつものように理路整然と報告しました。

第22回参議院議員通常選挙について

平成16年7月11日に施行されました第20回参議院議員通常選挙における当選議員は、平成22年7月25日に任期満了を迎えます。それには、日本医師連盟が推薦しております西島英利参議院議員も該当いたします。

北海道医師連盟では、平成20年6月21日に開催いたしました第1回郡市代表者会で、西島議員の推薦を決定して以降、順次、郡市医師連盟のご協力を得て、同議員をお招きして国政報告会等を開催しております。

政治情勢は混沌としておりますが、参院選挙まで残すところほぼ1年となり、今後ますます後援会活動を活発化していくことが必要であり、当医師連盟では引続き全力を傾注して参ります。

連盟員各位におかれましては、絶大なるご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

北海道医師連盟 委員長 長 瀬 清